

小海高等学校生活指導係発行

6月1日(水)から衣替え！！

上記の通り6月から衣替えです。本校の夏服は以下の通りです。2, 3年生は再確認し、1年生はよく把握して、暑い季節を清々しい姿でおくりましょう。

<夏服の確認>

- (男子) ワイシャツ+ネクタイ+ズボンかポロシャツ+ズボンが基本
寒いときはブレザーを着用してもよいが、ポロシャツの上には不可
「ワイシャツ」を着るときは必ずネクタイを着用する
「ワイシャツ」は必ずズボンの中に入れて着用する
- (女子) ワイシャツ+リボン+ベスト+スカートかポロシャツ+スカートが基本
スカートの代わりにスラックスを着用してもよい
寒いときにはブレザーを着用してよいが、ポロシャツの上には不可
「ワイシャツ」を着るときは必ずリボンとベストを着用する
「ポロシャツ」はスカートの中に入れる必要はない
- (男女共) 「ワイシャツ」は本校指定の長袖・半袖シャツのどちらを着てもよい
「ポロシャツ」を着るときは下に長袖を着ない
「ポロシャツ」はズボン・スカートの中に入れる必要はない

<その他・再確認事項>

- ※中間着(セーター)は6月1日から9月30日までは着用できません。
- ※スカート丈を短くする、腰パン、第二ボタンを開けることは着崩しになります。
- ※ブレザーを着るときは、襟を出さないようにしましょう。
- ※ワイシャツはスカートやズボンの中に入れて着用しましょう。

なぜ、制服を着崩してはいけないのか！？

学校制服の始まりは？現在の学習院大学が発祥だそうです。海軍の軍服を思い出してください。ボタンがないホック式の制服、あれが学校制服の第1号です。官立(当時)の学習院の海軍軍服に対して、一般学校では陸軍式軍服の「学生服」が広がったということです。この制服も軍服も、葬儀や結婚式に着用していきます。つまり、制服は服飾文化では「フォーマルウェア」なのです。ポイントはここです。「フォーマルウェア」の着こなしにおける最大のルールは「ドレスダウンは存在しない」という点です。燕尾服の袖をまくって、結婚式やノーベル賞授賞式に参列する人はいません。つまり制服・軍服において「着崩す」という概念は存在しないのです。よって制服を着崩して、例えば襟出しをしたり、ボタンを外したりしているということは……「ファッションを知らない」ということ!なんですね。ここはひとつ、服飾のマナー(ファッションの原点)に立ち戻ってみようではありませんか。